

週間漁海況情報—第 29 号

平成 25 年 7 月 22 日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

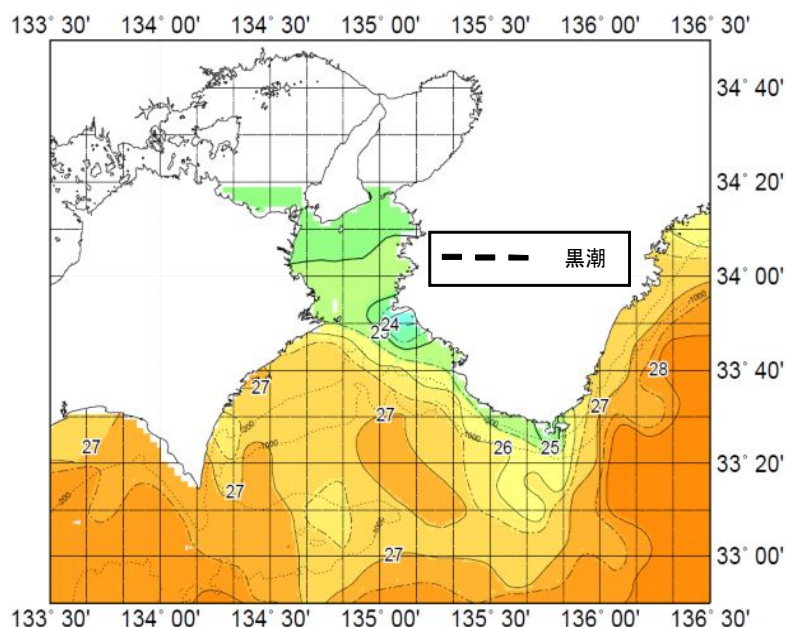
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25. 7. 22）を示した。

黒潮は、室戸岬でやや離岸、潮岬沖でかなり離岸している。

黒潮本流の表面水温は、28～29℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で24～25℃台、紀伊水道で25～27℃台、海部沿岸で26～27℃台である。紀伊水道外域への暖水流入は弱まりほとんど確認できない。

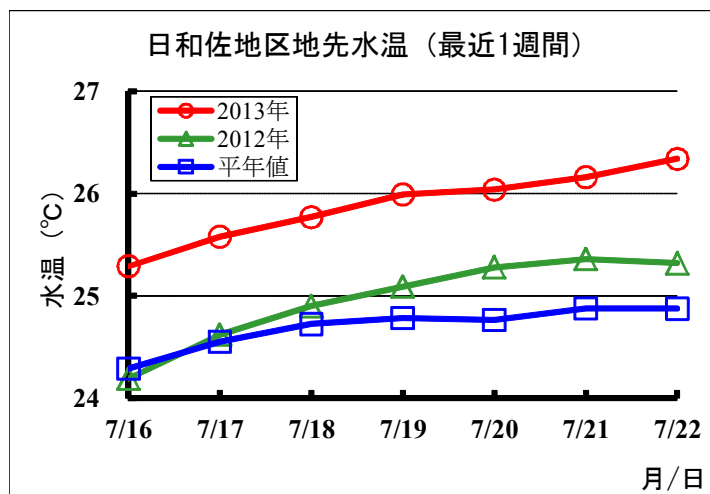
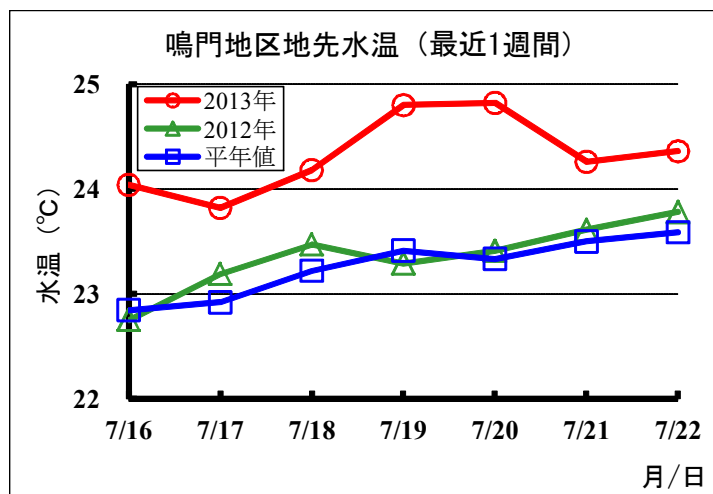


播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
7/17	今年値	25.3	23.9	23.0	21.4	31.6	31.8	31.9	32.1
	平年偏差	2.2	2.4	2.2	1.5	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1
	前年偏差	2.4	2.4	2.3	0.9	0.7	0.4	0.4	0.6

漁業調査船「とくしま」で7月17日に行った播磨灘海区の海洋観測では、表層～30m層が「高め」の21.4～25.3℃であった。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の23.8～24.8℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の25.3～26.3℃、牟岐地区は「やや高め」～「かなり高め」の26.0～27.5℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大・中・小主体にアカムツが1.9トン（1日1隻あたり18kg）、大・中主体にゴマサバが0.5トン（同12kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが2.9トン（同71kg）、マイワシが10.1トン（同214kg）、ウルメイワシが3.3トン（同71kg）、カタクチイワシが0.9トン（同34kg）、小主体にカンパチが0.7トン（同42kg）、小小主体にアカカマスが0.7トン（同16kg）、ヒラソウダが0.2トン（同13kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、マルソウダが2.6トン（同22kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.2トン（同7kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが62.0トン（同500kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 7月15日～7月21日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	105	1,908	18	大・中・小主体
		ゴマサバ	40	475	12	大・中主体
小型定置網		マアジ	41	2,914	71	小主体
		マイワシ	47	10,054	214	
		ウルメイワシ	47	3,315	71	
		カタクチイワシ	27	927	34	
		カンパチ	17	715	42	小主体
		アカカマス	42	666	16	小小主体
		ヒラソウダ	19	246	13	
		マルソウダ	118	2,646	22	
釣り	紀伊水道	タチウオ	33	245	7	特大主体
パッチ網		シラス	124	62,000	500	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の7月16日～7月23日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にアカムツが0.4トン、小型定置網で、マメ主体にマアジが0.2トン、マルソウダが0.1トン、釣りで、中・大主体にゴマサバが0.2トン、大主体にイサキが0.2トン、マルソウダが0.1トン、紀伊水道では、釣りで、特大主体にタチウオが0.1トン、パッチ網で、シラスが116.3トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖において、「かなり離岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」～「やや高め」の24℃台、日和佐地先で「やや高め」～「高め」の26℃台で推移する見込み。

クラゲ情報（速報）：漁業調査船「とくしま」で7月17日に行った播磨灘海区の海洋観測の際に、沿岸の定点において、クラゲ類（小型のミズクラゲ主体）が多数確認された。